

富山県アイスホッケー連盟 新体制(2021-2023)における取り組みについて（理事長所信）

1 これまでの評価

富山県アイスホッケー連盟では、重点方針として「富山スタイル」の確立（①中長期ビジョンの浸透と意思統一、②ジュニアから成年までの一貫した強化体制、③全年代での競技者の拡大）を掲げ、これまで各部門、委員会において各種事業に取り組み、各カテゴリー（小学生～成年）での全国大会への出場や日ア連事業への参加、主催（主管）大会の運営、新リンク建設に向けた体制整備など、一定の成果が出ているところである。

一方、近年、国体出場権を得られていないことや少子化・コロナ禍の影響等による競技人口の減少、連盟スタッフの人材不足など課題も多くあり、今後とも事業の継続や拡充、組織体制の強化等に取り組むことが必要である。

（各種事業・・・近年の取り組み）

- ・スケート理論に基づいた基礎スキル練習会（毎週開催）
- ・上記におけるオフアイストレーニングの開催（4月～9月）
- ・クロスアイスゲーム形式による県民体育大会(小学生の部)の開催
- ・近隣県参加によるジュニア交流アイスホッケー競技会の開催
- ・県民体育大会など連盟主催大会の運営委託
- ・各チームの普及事業（教室・体験会など）への助成・後援 など

2 新体制の取組方針

①「富山スタイル」の確立に向けた取り組みを継続し、拡充する。

- ア．将来を見据えた選手育成、上位カテゴリーへの輩出、一貫した指導体制の確立
- イ．県内大会の充実（ジュニア～女子、学生、社会人など）
- ウ．競技人口（連盟会員）の増加

・近年の取り組みは概ね好評であり、一定の成果も見られることから事業の継続・拡充を図る。
新たな試みを推奨し、失敗を恐れずチャレンジする。

・コロナ禍により県外遠征等が十分に実施できない可能性があり、県内大会・イベントの充実を図る。

・普及、育成、強化事業を連携し、会員数の増加を図る。【現在の100人強から200人に】

②2025年秋の新リンク完成を念頭に置いた体制づくり

- ア．ブロック大会等の開催（運営スタッフの育成、外部委託）
- イ．連盟理事、事務局を担う人材の充実・確保（自薦・他薦・公募）
- ウ．予算（財源）の確保（チーム支援、経費支出、スタッフ謝礼）

・理事、事務局の役割・担務は明確に（業務分担を進め、負担軽減を図る。）

・公募等により新たな人材を確保し、新たな発想の創出を目指す（役員改選を踏まえ）